

令和6年度卒業式・修了式「お祝いの言葉」について

報告内容

令和6年度の区立小・中学校、幼稚園における卒業式及び修了式の「お祝いの言葉」について報告します。

報告事項（別紙のとおり）

- 1 令和6年度 幼稚園修了式「お祝いの言葉」
- 2 令和6年度 小学校卒業式「お祝いの言葉」
- 3 令和6年度 中学校卒業式「お祝いの言葉」

令和六年度 幼稚園修了式 お祝いの言葉

〇〇組の皆さん、幼稚園修了、おめでとうございます。

先ほど、園長先生から、名前を呼ばれて、修了証書を受け取られた皆さん一人ひとりの姿はとても立派でした。園長先生のお話を聞くとときも、姿勢よくしっかりと聞くことができました。今までの幼稚園での生活をおして、皆さんがお兄さんお姉さんに成長したことが伝わってきます。

皆さん、〇〇幼稚園で楽しい思い出がたくさんできましたか。

皆さんは、毎朝、おうちの人と手をつなぎ、「おはようございます。」と元気にあいさつをして幼稚園に通いました。そして、おうちの方が用意してくれたお弁当もおいしかったですね。おうちの人に「ありがとう。」という気持ちを忘れないでくださいね。

幼稚園生活では、片付けや当番の仕事など、自分のことは自分でできるようになり、なわとびやこま回しなど、少し難しいことにも繰り返し挑戦しました。

友達と協力して取り組んだ劇や合奏、力いっぱい走った運動会など、心に残る思い出がたくさんできましたね。

四月から皆さんは、小学校一年生です。港区の小学校では、国語や算数のほか、英語の勉強もあります。お昼には、おいしい給食を食べます。わくわくドキドキするような楽しいことが皆さんを待っています。そして、小学校にはたくさん新しいお友達がいます。お友達とたくさん遊び、たくさん勉強して、立派な一年生になってください。

さて、保護者の皆様、本日はお子様の幼稚園修了、おめでとうございます。これまで愛情を注いで、育ててこられたお子様の晴れの姿に、胸を熱くされたことと思います。

子どもたちの心豊かで健やかな成長は、ご家庭の愛情はもちろんのこと、PTA並びに地域の皆様、本日御臨席いただきました皆様の温かいご理解とご支援、ご協力のたまものです。心から御礼申し上げます。

結びに、〇〇園長先生をはじめ教職員の方々に感謝を申し上げますとともに、本日、晴れて幼稚園を修了した園児の皆さんの健やかな成長を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和七年三月十八日

本文
830字

港区長 清家 愛
港区教育委員会

令和六年度 小学校卒業式 お祝いの言葉

〇〇小学校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日、小学校の全課程を修了され、晴れて卒業の日を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。大きく成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと思います。

ここで、新たなステージに羽ばたく卒業生の皆さんに、港区並びに港区教育委員会から、お祝いの言葉として二つのことを伝えます。

一つ目は、人と直接関わる大切さです。現在、テクノロジーの進化によって、便利で豊かな世の中になっており、これまでになかった様々なことが実現されてきています。皆さんもよく知っている「ドラえもん」の秘密道具の中でも、すでに私たちの生活の中で使用されているものがあります。例えば、「ほんやくコンニャク」のように即時に外国の言葉を翻訳する機器があります。皆さんも使ったことがあるのではないのでしょうか。また、VR機器の開発も進んでおり、家にいながら世界旅行の気分を味わうことができます。まさに現代の「どこでもドア」ですね。いつの日か行きたい場所にすぐに行ける日が訪れるかもしれません。これからさらに便利で素敵な世の中になることを想像すると、ワクワクしてきませんか。

しかし、スマートフォンやインターネットの普及によって対面でのコミュニケーションが減少し、感情の伝達が不足すると、信頼関係を構築することが難しくなってしまうかもしれません。どんなにテクノロジーが進化した世の中になっても、人と直接関わり、思いや考えを伝え合うことが大切です。対面でのコミュニケーションは、言葉だけでなく、表情や声のトーン、そして体の動きからも多くのことを感じとることができます。このような関わりが人間関係をより深め、人生を豊かにしてくれるのです。

二つ目は、自分や仲間の可能性を信じる大切さです。昨年夏に開催されたパリオリンピック競技大会では多くの感動がありました。日本は、海外開催のオリンピックで過去最多の四十五個のメダルを獲得しました。特に、体操男子チームが奇跡の大逆転をし、金メダルを獲得したことで、日本中が歓喜に沸きました。日本は最終種目前の時点で、逆転が難しい状況でした。しかし、日本の選手たちはあきらめませんでした。仲間のために声を出し、円陣を組み、背中を叩いて鼓舞し合い、大逆転を信じぬきました。そして、最終演技者である橋本大輝選手は、見事に最高の演技をすることができたのです。後のインタビューで「自信をもって演技しきれたのはみんなやコーチたちが信じてくれたおかげです。」と語っています。奇跡の大逆転の裏側には、最後まであきらめずに自分や仲間の可能性を信じぬいたという心の姿勢がありました。これからの皆さんには、希望に満ちた新たな世界が待っています。どんなときもあきらめない強い気持ちを持ち、大いに活躍することを願っています。

〇〇小学校で学び続けた皆さん、今お伝えした、人と直接関わる大切さと、自分や仲間の可能性を信じる大切さを意識して、中学校生活を充実させてください。

結びに、卒業生を今日まで愛情をもってご指導いただきました〇〇校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご協力とご理解を賜りましたPTA並びに、地域の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、〇〇名の卒業生の健やかな成長を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和七年三月二十四日

◎内容 ・ 人と直接関わり合う大切さ

・ 自分や仲間の可能性を信じる

本文
1,405 字

【参考】
R5:1,372 字

港区長 清家 愛
港区教育委員会

令和六年度 中学校卒業式 お祝いの言葉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日ここに義務教育九年間の全課程を修了され、晴れて卒業のときを迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと思います。

卒業生の皆さんは、校長先生から中学校三年間の課程を修了した証である卒業証書を受け取りました。清々(すがすが)しい表情は卒業の日を迎えた喜びと、これからの人生に対する大きな期待に満ちあふれており、その堂々とした姿は頼もしいかぎりです。

ここで、港区並びに港区教育委員会から、お祝いの言葉を贈ります。新たなステージに進む皆さんに大切にしてほしいことが二つあります。

一つ目は、文化や価値観の違いを理解し認め合うことです。これから皆さんが歩み出す世界は、人や物、情報が世界規模で結びつくグローバルな社会です。日本でも多国籍化が進み、国際都市、港区においては、人口の8%が外国の方です。グローバルな社会では、様々な人たちのそれぞれの文化や価値観を理解し、認め合うことが大切です。例えば、日本では、挨拶をするときにお辞儀をしますが、欧米では握手やハグをする方が多くいます。チベットの舌を出すそうです。あいさつした相手が舌を出してきたらびっくりしますね。また、食事の際、日本では食器を持って食べますが、韓国ではお皿を持つのはマナー違反になるそうです。さらに、誕生日のお祝いも国によって違いがあります。スペインでは、長生きするという理由で耳を引っ張る習慣があるそうです。ドイツでは、前祝いをせず、当日になるまで「おめでとう!」を言わないようにすることが、縁起のよいこととされています。「あいさつ」「食事」「お祝いの仕方」は一例に過ぎませんが、世界には多くの文化や価値観があります。皆さんが、自分の文化を理解するとともに、他国の異なる文化や価値観を理解し、尊重しあい、多くの人と支え合いながら、グローバル社会で活躍することを期待しています。

二つ目は、未知の世界へチャレンジすることです。皆さんは、港区名誉区民である桂(かつら)由美(ゆみ)さんを知っていますか。桂さんは、ウエディングドレスデザイナーとして世界を舞台に活躍されました。桂さんがブライダルファッションに出会ったのは、大学卒業後にパリへ留学した時のことでした。昭和初期の日本では、ブライダルファッションと言えば和装でした。ドレスに必要な生地すらなく全くの未知の文化でしたが、桂さんは、臆することなく、チャレンジを続けました。そしてついに、日本初のウエディングドレス専門店を港区に立ち上げ、日本のファッション文化に衝撃を与えました。これから皆さんは、これまでに経験したことのない未知の世界で様々なことに出会い、時には不安になったり、ためらったりすることもあるでしょう。そんなときでも、勇気をもって、思い切ってチャレンジしてください。

港区立〇〇中学校で学び続けた皆さん、文化や価値観の違いを理解し認め合うこと、未知の世界へチャレンジすることを大切に、それぞれの分野で、活躍されることを心より応援しております。新たな進路で、がんばってください。

結びに、〇〇校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご協力とご理解を賜りましたPTA並びに地域の皆様にご心より感謝を申し上げますとともに、〇〇名の卒業生の皆さんの健やかな成長と今後も充実した生活が送れることを心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和七年三月十九日

港区長 清家 愛
港区教育委員会

◎内容 ・ 文化や価値観の違いの受容
・ 未知の世界へのチャレンジ

本文
1,464 字

【参考】
R5:1,654 字